

港区学校教育推進計画（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 意見数

	件数
(1) 区民意見募集（郵送、インターネット等）により寄せられた意見 募集期間：令和2年11月12日～12月22日 人数：3人（うちインターネット3人）	3件
(2) 区民説明会での参加者意見 開催期間：令和2年12月11日・13日 開催回数：6回（各日とも3回開催） 人数：2人（令和2年12月11日：0人、同月13日：2人）	4件
計	7件

※ 港区幼児教育振興アクションプログラム、港区生涯学習推進計画、港区スポーツ推進計画、港区立図書館サービス推進計画と合同で区民説明会を開催しました。

※ 説明は各日とも3つのグループに分かれ、グループごとに行いました。

2 意見への対応状況

	対応状況	件数	区民意見募集	区民説明会
1	意見を反映し、計画素案を修正したもの	2件	0件	2件
2	計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの	2件	1件	1件
3	計画素案では記述していないが、既存事業等で対応しているもの	0件	0件	0件
4	意見の内容が対応できないもの	0件	0件	0件
5	区政に対する要望等として受けたもの	3件	2件	1件
	計	7件	3件	4件

区民意見募集（郵送、インターネット等）により寄せられた意見に対する区の考え方

No	区民意見	区分	区の考え方	対応状況
1	学校の先生の勤務時間が長いということが社会問題となっている中、港区でも働き方改革に取り組んでいるようだが、会社帰りに学校を見ると夜遅くまで電気がついているところを見かける。実際には勤務時間は減少しているのか。もっと対策を講ずるべきだと思う。	インターネット	港区教育委員会は、仕事と生活を両立し、心身ともに充実して子どもたちと向き合い、より質の高い教育の実現をめざして、「港区教職員の働き方改革実施計画（平成30年度～平成32年度）」を策定し、取り組んでいます。 学校や教員によって個人差はありますが、港区教職員全体の勤務時間については、平成30年度と令和元年度の出退勤記録を比較すると、週当たりで幼稚園は約4時間、小学校は約5時間、中学校は約6時間縮減されています。 これまでの取組と成果を検証した上で、効果があった事業は引き続き取り組み、教員が子どもたちと向き合う時間を確保し、教員の指導力向上を図るために、本事業を継続します。	2
2	いじめの発生を察知することはとても難しく、いくら「いじめはダメ」と言い聞かせても当事者たちにはなかなか響かないのではないかと思います。素案には「いじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応する」とあるが、それは具体的にはどのような方法か。	インターネット	定期的なアンケート調査やhyper-QUの実施、スクールカウンセラーによる面接等によりいじめの早期発見に努めるとともに、児童・生徒がいじめを訴えやすい学校体制を整備します。また、教員がいじめのサインを見逃さないよう校内研修等を充実させ、共通理解を図ります。	5
3	コロナの影響で学校が臨時休校になり、子どもが端末を持って帰ってきて勉強している。親としては、学校での学習風景が普段見れなかったのが、その姿を見て新鮮な気持ちと、これからはぜひ家庭学習に力を入れてほしい。	インターネット	引き続き、一人一台配備したタブレット端末を持ち帰り、学校の課題を行うことや、オンライン教材の活用等とおして、家庭学習の充実を図ります。	5

区民説明会での参加者意見に対する区の考え方

No	区民意見	区分	区の考え方	対応状況
1	<p>体力面について、体格が東京都の平均を上回っている一方で、一部の種目の体力測定の結果が東京都の水準を下回っている。数字だけを見ると、成果を出せるような取組が必要であると思うがいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都や全国の平均を上回っていくような取組ができそうであれば、お示しいただきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中でも、体力づくりができるような取組があれば、示していただきたい。 	区民説明会	<p>敏捷性や持久走については平均を上回っているが、50m走などは平均を下回っており、全力疾走できる環境が少ないことが影響しているのかもしれませんが。ボール投げについても、野球などの球技をしない子どもが増えていたり、体育の授業でも思い切り投げられなかったりすることが結果に表れています。ただし、上体起こしについては、何らかの原因があると思うので、さらに分析していく必要があります。体育では、体づくり授業を行っています。東京都の事業として、オリンピックやパラリンピアンを学校に招き、話を聞いたり、実技指導を行ったりもしています。オンライン授業でも、家庭でできる動作を紹介しています。</p> <p>学校教育推進計画（案）69頁の基本目標2 政策（3）①については、「○学習指導要領に基づき、各小・中学校において「体力向上推進計画」を作成していますが、児童・生徒の体力の現状や課題を踏まえ、今後はさらに個に応じた取組を強化し、一層の体力向上を図ります。」のように追記します。</p>	1
2	92ページの校務支援システムとは何か。	区民説明会	<p>本文を編集するため、関係者間で作業している際に、システムの「シ」が抜け落ちてしまいました。なお、校務支援システムとは、通知表や指導要録など手作業で行っていた部分をシステムでまとめられるようにしたもので、職員会議を減らすために、掲示板や連絡システムを活用し、少しでも時間を有効に使えるようにしています。</p> <p>学校教育推進計画（案）92頁の基本目標4 政策（1）②については、「校務支援システム」の部分を「校務支援システム」に修正します。</p>	1
3	<p>緊急事態宣言の期間中にオンラインを活用し、学校から生徒（家庭）に向けて動画等を配信したのか。また、動画を見られなかった児童・生徒もいると思うが、情報格差に対して、どのように対応したのか。再び新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している中で、家庭で学校教育を補完できるものがあるか。</p>	区民説明会	<p>令和2年3月から令和2年5月の緊急事態宣言の際は、各学校ホームページで週ごとに各教科の課題を提示するとともに、教育委員会でも教科ごとに説明（授業）動画を作成し配信しました。</p> <p>また、緊急にタブレット端末を調達し、令和2年10月末までに全児童、生徒を対象に一人一台配備しました。</p> <p>さらに、Wi-Fi環境のない家庭には令和2年6月からルーターを貸し出ししています。</p> <p>通常の授業時にもタブレット端末を活用して授業を進めているほか、冬休み以降はタブレット端末を家庭に持ち帰り宿題を実施するなどの活用を図っています。また、再度の臨時休業等の事態に備え、学校と家庭をつないで朝の会、ハイブリッド型の授業などの実施を試行しています。</p> <p>子どもたちがタブレット端末を適切に使用できるよう学校で指導するとともに、教員向けの研修や保護者向けの講演会等も行っています。</p>	2
4	<p>東京都などの新しい方針が本計画と整合しない場合は、どのように対応するのか。また、港区独自の取組はあるのか。</p>	区民説明会	<p>中間年となる令和5年度に見直しを行います。国や東京都の計画等を意識しながら、その都度、計画に記されている事項と整合性を図り、事業を実施してまいります。また、港区としては平成18年度から、小学校1年生から国際科の授業を行っています。こうした取組は国や東京都に届け出をして、教育課程の特例校として実施しています。算数・数学についても、東京都の施策として、教員を一人増やして少人数指導を行っており、成績は全国と比べても良い方です。</p>	5